

第1回



日本うつ病リワーク協会年次大会福島大会

プログラム・抄録集



2018年4月21日世 · 22日日



〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地

佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル



発達障害のリワークを 科学する

~診断、評価、支援の構築~



第1回 日本うつ病リワーク協会 年次大会 福島大会

プログラム・抄録集

発達障害のリワークを 科学する

~診断、評価、支援の構築~

- 全期 2018年 **4月21**日王 · **22**日日
- 会場 ビッグパレットふくしま 〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地
- 大会長 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

INDEX

ご 挨 拶
交通アクセス 2
会場案内図 3
参加者へのご案内4
発表者へのご案内 ······ 7
日 程 表10
プログラム12
単位取得表24
総会資料25
抄 録
大会長講演 35
特別講演 37
特別教育講演 39
シンポジウム 1 43
シンポジウム 2 47
シンポジウム 3 53
シンポジウム 4 59
専門職シンポジウム 63
一般演題ポスター発表 81
特別セッション
ランチョンセミナー 119
協賛企業一覧123
運営組織図124

大会長 佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル 理事長・院長

2008年にうつ病リワーク研究会が結成され10年が経過し、正会員施設も200ヵ所を超え、年次研究会においても、うつ病を廻る課題について、様々な視点から活発に議論されてきました。第10回の研究会は『力動的理解に基づくチーム医療』をテーマに九州で開催され約400人の参加者を数えています。

研究会としては第11回となり、2018年2月に発足した一般社団法人日本うつ病リワーク協会年次大会として第1回目となる本大会では、うつ病の背景にある「発達特性」に焦点を当てることにしました。近年の精神科医療は児童から成人まで、精神疾患の診断、治療、そして就労を考える上で、背景にある発達障害や発達特性についての理解を深め、支援を構築することが大変重要となっています。

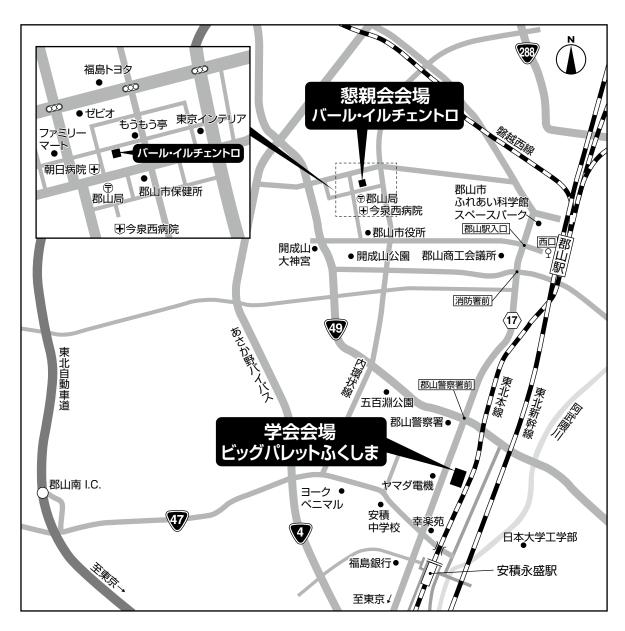
近年、リワークデイケアの現場において、個々の発達特性への対応の困難さが大きな課題となっており、昨年は本研究会で「自閉スペクトラム症の特徴がある参加者へのリワーク支援の手引き」も作成されています。 第1回年次大会では、発達特性の理解、評価、治療、支援について少しでも踏み込んだ議論を行い、参加する皆さんが、今後リワークデイケアで取り組むべき課題や方向性に何らかのヒントを見出せる機会になればと考えます。

2015年12月からストレスチェック制度が導入され、気分障害への早期介入、早期治療、そして適切な復職支援という流れの中で、精神科医療は企業や産業医との連携の中で、その役割の明確化と専門機関としての説明責任が求められています。そのような意味で、リワークプログラムはうつ病からの職場復帰に重要な役割を果たしており、その普及と共に社会的認知を更に高めていく必要があります。今回は初めての東北での開催になりますが、全国的に見るとリワークデイケアがまだまだ少ない地域ですので、この年次大会が東北のリワークデイケアの増加や充実に少しでも寄与できればと考えます。

震災の傷跡はまだ癒えない福島ですが、磐梯山や猪苗代湖に代表される豊かな自然 とその美味しい恵みは健在です。

出来る限り多くの皆様のご参加を心よりお待ちしています。

交通アクセス



学会会場:ビッグパレットふくしま

〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地 TEL: 024-947-8010

JR郡山駅西口「1番乗り場」から乗車、バス停「ビッグパレット」下車 → 約15分 ■バ ス

■車 東北自動車道「郡山南I.C」より約15分

郡山駅までのアクセス) ●JR東北新幹線「郡山駅」までの所要時間 仙台から → 約40分 東京から → 約1時間20分

●福島空港から リムジンバス(郡山駅着) → 約40分

懇親会会場: バール・イルチェントロ

〒963-8024 福島県郡山市朝日3丁目5番16号 TEL: 024-927-5685

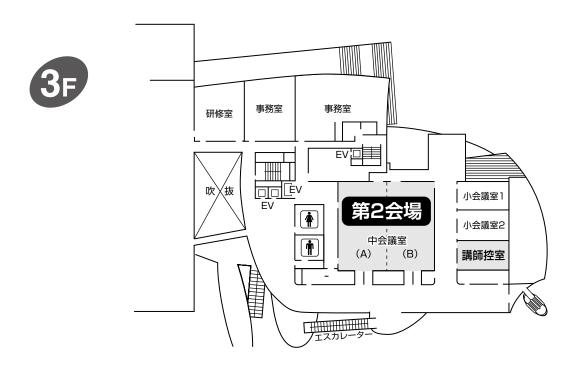
当日は大会会場から無料送迎バスの運行があります。

行き…「ビッグパレットふくしま」→「懇親会会場」

帰り… 「懇親会会場」→「郡山駅」

会場案内図





参加者へのご案内

受付場所

ビッグパレットふくしま 1階 コンベンションホール前

受付時間

平成30年4月21日(土) 8:30~18:00 平成30年4月22日(日) 8:00~14:00

ランチョンセミナー整理券配布時間

平成30年4月21日(土)9:00~

平成30年4月22日(日)8:30~

場所:1階 総合受付付近にて配布致します。

1. 当日参加申込の方へ

(1)参加費

会 員:6,000円

非会員:7.000円(抄録集は別途)

抄録集:1,000円

(2) 受付の流れ

- ①会員・非会員ともに会場受付に設置しております「参加申込書」に必要事項をご記入ください。
- ②当日参加受付窓口にて「参加申込書」を提出していただき、参加費を現金でお支払いください。
- ③引き換えにネームカード(カードホルダー付)をお渡し致します。
- ④記名台においてお渡しいたしましたネームカードに所属・職種・氏名をご記入ください。
- (5) ネームカードをカードホルダーに入れ、会場内では必ず着用してください。

2. 事前参加登録をした方へ

所属・職種・氏名を印刷した参加証明証をプログラム・抄録集とは別に事前に郵送致します。 来場の際は「事前登録受付」にて参加証明証の提示をお願い致します。受付時にカードホル ダーをお渡し致しますので会場内では必ず着用してください。

《ご注意》

- カードホルダーは回収致します。お帰りの際に回収ボックスへお入れください。
- 当大会ホームページ上より事前登録していただいた方で、入金締切日までに参加費の 振込確認ができない場合は、当日参加扱いとなり、参加費の差額が発生致しますので ご了承ください。

3. プログラム・抄録集

会員及び事前登録の方には事前に送付しておりますので、当日会場までご持参ください。 購入希望の方は1冊1,000円(税込)で販売致します。

4. 懇親会(情報交換会)

日 時:平成30年4月21日(土) 19:00~20:30

会 場:バール・イルチェントロ

福島県郡山市朝日3丁目5-16

電話 024-927-5685

会 費:4,000円

※参加者の方は専用シールを貼付します(事前登録で参加費を納入されている方は貼付済み)。

※無料送迎バスの運行がありますのでご利用ください。

(行き:大会会場→懇親会会場、帰り:懇親会会場→郡山駅)

5. 会場内でのご協力とお願い

- (1) 個人情報の観点から講演・シンポジウム・ポスター発表会場内において、許可なく発表 内容の撮影・録画・録音等は禁止させていただきます。
- (2) 講演・シンポジウム・ポスター発表中の会場内での携帯電話・スマートフォン等については、予めマナーモードにしていただくか電源を OFF にしてください。また、講演中の会場内でのパソコンのご使用はお控えください。

6. 会場内設備について

(1) クローク

場 所:ビッグパレットふくしま1階エスカレーター向かい

対応時間:平成30年4月21日(土) 8:30~18:30 平成30年4月22日(日) 8:00~15:30

(2) 呼出し業務

原則として呼出し業務は行いません。

(3) 紛失物に関して

会期中の忘れ物・落し物につきましては総合受付にて保管致します。

(4) 託児室

ご用意がございません。予めご了承ください。

(5) 喫煙スペース

喫煙室は2階にございますので指定場所以外での喫煙はご遠慮ください。

7. 各種会議・委員会

●法人設立報告会(会員対象)

平成30年4月21日(土) 13:20~13:50 ビッグパレットふくしま 第1会場 コンベンションホール

●委員会報告会(会員対象)

平成30年4月22日(日) 11:10~11:50 ビッグパレットふくしま 第2会場 中会議室 A

- 研修委員会
- 認定委員会

ビッグパレットふくしま 第2会場 中会議室 B

- 地域連携委員会
- 情報委員会

8. 展 示

株式会社日立製作所

展示時間: 平成30年4月21日(土) 9:30~17:00 平成30年4月22日(日) 8:30~15:30

9. 書籍販売

株式会社岩瀬書店

販売時間:平成30年4月21日(土) 9:00~17:00 平成30年4月22日(日) 8:30~15:30

10. 第2回年次大会開催案内(予定)

大 会 長:松原 六郎

運営事務局:公益財団法人松原病院

〒910-0017 福井県福井市文京 2-9-1

開催期日:平成31年4月20日(土)、21日(日)予定

発表者へのご案内

1. 座長へのご案内

予めプログラム時間をご確認の上、設定された時間内で発表や討論が円滑に進行するように ご配慮をお願い致します。

- (1)ご登壇10分前までに事前打合わせをした控室にお集まりください。全員揃いましたら、 案内係が誘導致します。
- (2) 各会場に進行係が常駐し、各演者の発表・討論時間を計測致します。持ち時間が経過した場合はベルを鳴らしますので、進行が遅れないようにご協力をお願い致します。

2. 発表者へのご案内

■共 通

(1) 発表者は必ず参加登録をお済ませください。

(2) 倫理的配慮

1) 発表時に具体的な内容で言及してください。 (例:倫理委員会の許可、文書同意、口頭同意など)。

2) 発表データの取り扱い

個人情報保護の観点から、発表する内容は患者様・関係者等、特定ができる情報を表示しないようご配慮ください。特に画像・動画等明らかに人物を特定できる提示をせざるを得ないものにつきましては、必ず対象者ご本人の同意が得られていることが前提となります。

■口演演者の方へ ※一般(ポスター)演題発表を除くすべて

(1) 発表はすべてパソコンによるプレゼンテーションとなります。 ※35mmスライド及びビデオでの発表は出来ませんので予めご了承ください。

(2)発表データ作成について

- 1) 当日会場でのプレゼンテーションソフトは windows 版 Microsoft PowerPoint2016を 準備しております。
- 2) 文字フォントは PowerPoint に設定されている標準的なフォントをご使用ください。 (特殊フォントの使用は控えてください)。

推奨フォント:日本語 … MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝 英 語 … Century、Century Gothic

- 3) 作成した発表データは USB メモリーまたは CD-R (RW は不可) に保存して、当日、 発表会場にある発表データ受付にお持ちください。事前提出済の場合は、こちらの 作業は不要です。
 - ※ USB メモリーまたは CD-R は事前にウイルスチェックを行ったうえでデータを保存願います。また、保存したデータは別のパソコンでコピーをしていただき、正常に再生されることをご確認ください。
- **4)** 保存したデータはファイル名にセッション名(タイトル不要) + 氏名を必ず入力してください。
 - 例) シンポジウム1→シンポ1(氏名)

- **5**) PowerPoint 以外のソフト及び Mac で作成されたデータは、パソコン本体をお持込みください。
 - ※ Mac を使用する場合は、必ず付属の変換コネクターもご用意ください。
- 6) モニター出力端子は VGA ケーブル (D-sub15) を準備します。それ以外は受付できかねますのでご注意ください。

(3)発表データ受付において

- 1) ご自身の登壇30分前までに1階 コンベンションホールホワイエにある「発表データ 受付」にて受付を行い、データチェックをお願い致します。
- 2) お預かりしたデータは大会終了後、事務局側で責任を持って消去致します。

パソコンをお持込みされる方へ

- 1) パソコンに保存されたデータの紛失を防ぐため、発表データは必ず USB メモリーまたは CD-R (RW は不可) にバックアップ用として予め保存し、当日持参してください。
- 2) AC アダプターを必ずご用意ください。
- 3) Mac を使用する場合は、必ず付属の変換コネクターをご用意ください。
- 4) スクリーンセーバー、省電力設定及びパスワード設定は事前に解除してください。

(4) 発表において

- 1) ご自身の登壇10分前までに事前打合わせをした控室にお集まりください。全員揃いましたら、案内係が誘導致します。
- 2) 講演台には操作用のノートパソコンをご用意しております。演者ご自身で操作をお願い致します。
- 3)発表時間は時間厳守でお願い致します。持ち時間(質疑応答時間含む)が経過した場合はベルを鳴らしますので、進行が遅れないようにご協力をお願い致します。
- 4) 各シンポジウムの発表時間は以下の通りです。

セッション名	セッション時間	1人当たり発表時間 (質疑応答含む)	総合討論
特別教育講演	120分	25分	20分
シンポジウム1	120分	25分	35分
シンポジウム2	120分	25分	15分
シンポジウム3	120分	20分	30分
シンポジウム4	120分	25分	35分
特別セッション	120分	20分	60分
専門職シンポジウム Ns	120分	30分	20分
専門職シンポジウム CP	120分	15分	40分
専門職シンポジウム OT	120分	20分	15分
専門職シンポジウム PSW	120分	20分	30分

■一般(ポスター)演題発表の方へ

発表データ作成について

- ※文字のポイント(pt)については下記を参考に作成をお願い致します。
- 1) 演題名、氏名、所属貼付部分寸法:

縦20cm、横70cm

- 演題名の文字:144pt 以上(2行にわたる場合は100pt 以上)
- •氏名、所属の文字: 72pt 以上
- 2) 本文(ポスター) 貼付部分寸法:

縦153cm、横90cm

• 文字は出来る限り30pt以上

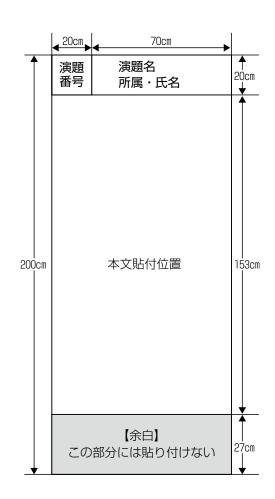
※最上段に目的と結論を掲示し、発表内容を高さ 153cm、幅90cmの間に収まるようにグラフ、写真、 カラー資料等を提示してください(A0サイズを 目安にしてください)。

ポスター発表について

(1) ポスター貼付時間

平成30年4月21日(土) 10:00~17:00 平成30年4月22日(日) 9:00~12:00

(2)発表会場に来場されましたら、受付終了後、 発表用リボンをポスター発表者窓口にて受け 取ってください。



- (3) ポスター会場内の展示パネルに演題番号を確認の上、貼付してください(上図参照)。
- (4) 貼付のための画鋲及び演台番号は事務局で用意致します。
- (5) 貼付のための椅子を数か所に設置致しますのでご利用ください。

(6) 発表日時

平成30年4月22日(日) 11:10~11:50 ※発表時間内はポスター近くで待機し対応願います。

(7) ポスター撤去時間

平成30年4月22日(日)12:00~15:00

撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは、事務局にて撤去処分致しますのであらか じめご了承ください。

2018年 4月 21日田 1日目 医日本医師会生涯教育講座単位 産 認定産業医単位(生涯:専門) 第1会場 第2会場 ポスター会場 3F 中会議室 コンベンションホールホワイエ 1F コンベンションホール 8:30 8:30~ 受付開始 9:00 9:00~10:00 ポスター 9:30~10:00 開会、大会長挨拶、来賓挨拶 準備 10:00 10:00~12:00 医2 特別教育講演 10:00~17:00 うつ病、発達障害を理解する ~子どもから大人までの縦断的理解~ ポ 座長・コメンテーター: ス 11:00 大野 裕 佐久間 啓 夕 シンポジスト: 松田 文雄 ı 大嶋 正浩 笠原 麻里 展 12:00 示 ランチョンセミナー 1^{医1 産1} 12:10~13:10 12:10~13:10 医1 ランチョンセミナー 2 ポジティブ手法で何が変わるか 教育および 「うつ」がなかなか治らない時に我々は 何を考え、どう対処すべきなのか 臨床への応用 実践プログラムの紹介 座長: 五十嵐 良雄 演者:渡邊 衡一郎 座長: 佐久間 啓 演者: 須賀 英道 13:00 共催: Meiji Seika ファルマ株式会社 共催:ファイザー株式会社 13:20~13:50 法人設立報告会 14:00 14:00~16:00 医2 産2 14:00~16:00 医2 シンポジウム 1 シンポジウム 2 自閉スペクトラム特性がある患者への うつ病診断と治療の未来 リワーク支援 座長:大野 裕 尾崎 紀夫 15:00 座長: 秋山 剛 シンポジスト:大森 哲郎 シンポジスト:神尾陽子 篠崎 和弘 吉田 友子 鷲塚 伸介 村田 俊郎 尾崎 紀夫 16:00 16:10~18:10 16:10~18:10 医2 (医2)(産2) シンポジウム 3 シンポジウム 4 ストレスチェックで変わる企業のメンタ リワーク施設と ルヘルス ~リワークの活用と発達障害へ 社会保険労務士の連携 17:00 の対応を通して~ 座長: 秋山 座長:横山 太範 シンポジスト:後藤 剛 シンポジスト: 信田 広晶 田島 美幸 大仁田 広恵 山田 晴男 佐藤 奏恵 中村 宏司 18:00 18:10~18:40 懇親会場へ移動 18:10~18:40 懇親会場へ移動

会

会場:バール・イルチェントロ

親

懇

19:00~20:30

19:00

2日目 2018年 **4月 22**日日 医 日本医師会生涯教育講座単位 産 認定産業医単位(生涯:専門)

第1会場	第 2 3F 中会議室A	会場 3F中会議室B	ポスター会場
8:00	01 小五贼主八	JI THARED	
9:00 9:00~11:00 医2 産2 特別セッション リワークプログラムにおける 発達障害への対応 ~どこでも役立つ プログラム上での工夫~ 座長:五十嵐 良雄 シンポジスト:高橋 望 大濱 伸昭 佐々木 一	9:00~11:00 専門職シンポジウムNs 発達障害の特性を持つ 患者支援 ~看護師に求められる 支援と役割~ 座長:飯島優子 小山友徳 コメンテーター:辻井 崇 シンポジスト:行武 亜由子 前田 エミ 山本 沙綾	9:00~11:00 専門職シンポジウムCP 発達障害の特性を どのように把握し、 伝えていくか 座長:坊 隆史 天海 久 コメンテーター:渡邉 理 シンポジスト:川口 準也 遠藤 宏美 柳沼 貴	9:00~11:10 ポ ス タ ー 展 示
	11:10~11:50 委員会報告会 ①研修委員会 ②認定委員会	11:10~11:50 委員会報告会 ①地域連携委員会 ②情報委員会	11:10~11:50 ポスター 発表
12:00 12:00~13:00 医1 <u>産1</u> ランチョンセミナー 3 自閉症スペクトラムと抑うつ 座長: 尾崎 紀夫 演者: 内山 登紀夫 共催: 田辺三菱製薬株式会社 / 吉富薬品株式会社			12:00~15:00 ポ ス タ
13:10~14:10 医1 特別講演 うつ病の個別化医療実現: 学会治療ガイドライン2016を 踏まえて 座長: 佐久間 啓 演者: 尾崎 紀夫 14:20~15:15 医0.5 大会長講演 発達障害の理解と 地域包括ケア	13:10~15:10 専門職シンポジウムOT 個々の特性から考える、 復職・職場定着のために OTができること ~「働きたい」を実現する~ 座長:萩原 喜茂 コメンテーター:辻井 崇 シンポジスト:田嶋 祐一郎 岡崎 渉 家永 千夏	13:10~15:10 専門職シンポジウムPSW 今、精神保健福祉士に 求められている専門性 とは? 座長: 佐藤 圭 中田 直 コメンテーター: 渡邉 理 シンポジスト: 山内 英士 高木 彌 遠藤 寛子	展示・回収
25:00 座長: 五十嵐 良雄 演者: 佐久間 啓 15:15~15:30 閉 会 式	古川 情親		

プログラム

1日目 4月21日田

9:30~9:35 **開会式、大会長挨拶**

第1会場(1F コンベンションホール)

大会長:佐久間 啓(社会医療法人あさかホスピタル 理事長・院長)

9:35~10:00 来賓挨拶

第1会場(1F コンベンションホール)

福島県

郡山市

土屋 繁之 一般社団法人郡山医師会 会長

矢部 博興 公立大学法人福島県立医科大学医学部 神経精神医学講座 主任教授

大野 裕 大野研究所 所長

10:00~12:00 特別教育講演 医2

第**1**会場(1F コンベンションホール)

[うつ病、発達障害を理解する ~子どもから大人までの縦断的理解~]

座長・コメンテーター: 大野 裕 (大野研究所 所長) 佐久間 啓(社会医療法人あさかホスピタル 理事長・院長)

- 1 児童思春期精神科医療への取り組み
 - ○松田 文雄 医療法人翠星会 松田病院 理事長・院長
- 2 幼児期から自立までの発達障害の支援を通して
 - ○大嶋 正浩 医療法人社団至空会 メンタルクリニック・ダダ 院長
- 3 子ども時代に発達障害の診断を受けた人の成人期の社会適応
 - ○笠原 麻里

医療法人財団青溪会 駒木野病院 児童精神科 診療部長

12:10~13:10 ランチョンセミナー1 医1 産1

第1会場(1F コンベンションホール)

座長: 五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長・院長)

「うつ」がなかなか治らない時に我々は何を考え、どう対処すべきなのか

渡邊 衡一郎 杏林大学医学部 精神神経科学教室 教授

共催:Meiji Seika ファルマ株式会社

産 認定産業医単位(生涯:専門)

12:10~13:10 **ランチョンセミナー2** 医1

第2会場(3F中会議室)

座長:佐久間 啓(社会医療法人あさかホスピタル 理事長・院長)

ポジティブ手法で何が変わるか 教育および臨床への応用 実践プログラムの紹介

須賀 英道 龍谷大学短期大学部 社会福祉学科 教授

共催:ファイザー株式会社

13:20~13:50 法人設立報告会

第1会場(1F コンベンションホール)

理 事 長

五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長・院長)

事務局長

林 俊秀(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門)

14:00~16:00 シンポジウム 1 医2 産2

第1会場(1F コンベンションホール)

[自閉スペクトラム特性がある患者へのリワーク支援]

座長: 秋山 剛 (NTT 東日本関東病院 精神神経科 部長)

- **S1-1** 成人リワークで発達障害が疑われる患者の特徴:ヒストリーから紐解く診断
 - ○神尾 陽子

国立大学法人お茶の水女子大学 客員教授、 国立開発法人国立精神・神経医療研究センター 客員研究員

- S1-2 未診断者の発達の偏りへの支援
 - ○吉田 友子

子どもとおとなの心理学的医学教育研究所 iPEC 所長

- S1-3 「客観的な世界観」をインストールする
 - ~自閉スペクトラム特性がある患者へのリワーク支援
 - ○村田 俊郎

医療法人財団光明会 明石こころのホスピタル 作業療法士

[うつ病診断と治療の未来]

座長: 大野 裕 (大野研究所 所長) 尾崎 紀夫(国立大学法人名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野 教授)

- S2-1 気分障害の診断と薬物療法 overview
 - ○大森 哲郎

国立大学法人德島大学大学院医歯薬学研究部 精神医学分野 教授

- S2-2 反復経頭蓋磁気刺激 rTMS によるうつ病の治療とリワーク
 - ○篠崎 和弘

公益財団法人浅香山病院 臨床研究研修センター センター長

- S2-3 双極性障害とリワークプログラム
 - ○鷲塚 伸介

国立大学法人信州大学医学部 精神医学教室 教授

- S2-4 うつ病・双極性障害患者の生活と自動車運転について
 - ○尾崎 紀夫

国立大学法人名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野 教授

16:10~18:10 シンポジウム3 医2 産2

第1会場(1F コンベンションホール)

[ストレスチェックで変わる企業のメンタルヘルス

~リワークの活用と発達障害への対応を通して~]

座長:横山 太範(医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック 院長)

- S3-1 職域における発達障害者の問題の特徴とストレスチェックの効用
 - ○信田 広晶

医療法人社団心癒会 しのだの森ホスピタル 理事長・院長

- **S3-2** ストレスチェックで変えたい企業のメンタルヘルス ~リワークと発達障害~
 - ○大仁田 広恵

医療法人社団新光会 不知火クリニック 心理士

- \$3-3 外部 EAP サービスの立場から
 - ○佐藤 奏恵

あさかストレスケアセンター 臨床心理士

- S3-4 ストレスチェック制度を活用しての働きやすい職場環境の形成について
 - ○中村 宏司

福島トヨペット株式会社 管理本部人事担当 次長

[リワーク施設と社会保険労務士の連携]

座長: 秋山 剛(NTT 東日本関東病院 精神神経科 部長)

S4-1 社会保険労務士との連携の実例

○後藤 剛

社会医療法人二本松会 山形さくら町病院 精神科 医師

S4-2 リワーク施設と社会保険労務士の勉強会

○田島 美幸

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、 認知行動療法センター 臨床技術開発室 室長

S4-3 リワーク施設との連携

○山田 晴男

社会保険労務士山田事務所 所長

2日目 4月22日<u>日</u>

9:00~11:00 特別セッション 医2 <u>産2</u>

第1会場(1F コンベンションホール)

[リワークプログラムにおける発達障害への対応 ~どこでも役立つプログラム上での工夫~]

座長: 五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長・院長)

- 1 メディカルケア虎ノ門の SSR (Social Skill Renovation) とその経験に基づく工夫
 - ○高橋 望

医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 臨床心理士

- 2 さっぽろ駅前クリニックの「復職支援デイケア」と「就労支援デイケア」の 運営の経験から
 - ○大濱 伸昭

医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック 北海道リワークサポートプラザ 所長 精神保健福祉士

- 3 心の風クリニックでの発達障害への対応の試み
 - ○佐々木 一

医療法人社団爽風会 理事長 心の風クリニック デイケア担当医師

9:00~11:00 **専門職シンポジウム Ns ~看護師部門~**

第2会場(3F中会議室A)

[発達障害の特性を持つ患者支援 ~看護師に求められる支援と役割~]

座長:飯島 優子(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 保健師)

小山 友徳(社会医療法人あさかホスピタル 看護師)

コメンテーター: 辻井 崇 (社会医療法人あさかホスピタル 精神科 医師)

- Ns-1 発達障害患者の看護を考える
 - ―復職サポートプログラムを通してみえてきたもの―
 - ○行武 亜由子

医療法人社団新光会 不知火病院 看護師

- Ns-2 当院における発達障害の特性を持つ患者支援の実際と看護職の役割
 - ○前田 エミ

医療法人要会 かなめクリニック 看護師

- Ns-3 看護職の特徴を活かした関わり方
 - ○山本 沙綾

医療法人 湖南クリニック リワーク・サポート こなん 看護師

[発達障害の特性をどのように把握し、伝えていくか]

座長:坊隆史(東洋学園大学人間科学部専任講師)

天海 久(あさかストレスケアセンター センター長 臨床心理士)

コメンテーター:渡邉 理(社会医療法人あさかホスピタル 地域診療部 部長 医師)

CP-1 発達障害のアセスメントとリワークでの活用

○川口 準也

特定医療法人恵風会 高岡病院 臨床心理士

CP-2 プログラム内での特性の把握、伝え方 ~本人の受容の視点から~

○遠藤 宏美

社会医療法人一陽会 一陽会病院 心理士

CP-3 心理検査による自己理解、そしてデイケアやリワークへと繋がった2症例

○柳沼 貴

医療法人西口ハートクリニック 臨床心理士

11:10~11:50 委員会報告会

第2会場(3F中会議室A)

①研修委員会 委員長

有馬 秀晃(医療法人こころの会 品川駅前メンタルクリニック 院長)

②認定委員会 委員長

横山 太範(医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック 院長)

11:10~11:50 委員会報告会

第2会場(3F中会議室B)

①地域連携委員会 委員長

森田 哲也(株式会社リコー ビジネスサポート本部 人事総務統括センター H&S 総括部 グループ総括産業医)

②情報委員会 委員長

五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長・院長)

座長: 尾崎 紀夫(国立大学法人名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野 教授)

自閉症スペクトラムと抑うつ

内山 登紀夫 よこはま発達クリニック 院長

共催:田辺三菱製薬株式会社、吉富薬品株式会社

13:10~14:10 特別講演 医1

第1会場(1F コンベンションホール)

座長:佐久間 啓(社会医療法人あさかホスピタル 理事長・院長)

うつ病の個別化医療実現:学会治療ガイドライン2016を踏まえて

尾崎 紀夫 国立大学法人名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野 教授

13:10~15:10 専門職シンポジウム **OT ~作業療法士部門~**

第2会場(3F中会議室A)

[個々の特性から考える、復職・職場定着のために OT ができること ~ 「働きたい」を実現する~]

座長: 萩原 喜茂(一般社団法人日本作業療法士協会 副会長)

コメンテーター: 辻井 崇 (社会医療法人あさかホスピタル 精神科 医師)

- **OT-1** 個々の特性から考える、復職・職場定着のために OT ができること ~ "働きたい"を実現する~
 - ○田嶋 祐一郎 医療法人社団新光会 不知火病院 作業療法士
- **OT-2** 生きにくさをやわらげる工夫が、復職意欲につながる
 - 岡崎 渉 NTT 東日本関東病院 精神神経科 作業療法士
- **OT-3** 「今、ここで起っていること」を見る視点
 - ○家永 千夏 医療法人要会 かなめクリニック 作業療法士
- **OT-4** 「働きたいけど…」という迷いの根源を、作業から探る
 - ○古川 情親

社会医療法人あさかホスピタル附属さくまメンタルクリニック 作業療法士

「 今、精神保健福祉士に求められている専門性とは?]

座長:佐藤 圭(医療法人社団新光会 不知火病院 精神保健福祉士)

中田 直(社会医療法人あさかホスピタル 精神保健福祉士)

コメンテーター:渡邉 理(社会医療法人あさかホスピタル 地域診療部 部長 医師)

PSW-1 発達障害の「働きづらさ」に PSW は何ができるのか

○山内 英士

IMS グループ 医療法人社団明和会 こころのクリニックイムス八王子 精神保健福祉士

PSW-2 当院における精神保健福祉士の役割

○髙木 彌

医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 精神保健福祉士

PSW-3 リワーク支援において精神保健福祉士の専門性がどう活かされるか

○遠藤 寛子

社会医療法人あさかホスピタル附属さくまメンタルクリニック 精神保健福祉士

14:20~15:15 大会長講演 医0.5

第1会場(1F コンベンションホール)

座長: 五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長・院長)

発達障害の理解と地域包括ケア

佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル 理事長・院長

15:15~ 閉会式

第1会場(1F コンベンションホール)

- P-01 疾病理解のプロセス ~ 「自分の体調管理スケールづくり」を通じて~
 - ○牧野 未佳、高科 雅哉、尾山 悠子 鳴海ひまわりクリニック
- P-02 発達障害傾向を有する者へのリワーク支援のポイント
 - 一発達障害を有する利用者への支援を振り返って一
 - ○杉井 智子

医療法人社団有朋会 栗田病院

- P-03 発達障害のあるリワーク参加者に対する発達障害支援グループでの取り組み
 - ○遠迫 憲英、柚木 奈津美、松本 春花、石井 麗衣、岸本 英子 医療法人啓光会 HIKARI CLINIC
- **P-04** リワーク終了後もフォローアップを利用される目的は? さらに利用者を増やすには?
 - ○藤井 朋広

医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと

- P-05 医療リワークにおける発達障害支援プログラムの構築
 - ○神崎 順次、大野 一人、飯田 高数 社会医療法人緑峰会 養南病院
- **P-06** プログラムを活用した復職プロセス ~修了者へのインタビューを通して見えた要素
 - ○上野山 真以

医療法人財団光明会 明石こころのホスピタル

- P-07 産業医による講義と復職面談のロールプレイを含む プログラムのリワークデイケアでの実践報告
 - 〇早坂 佳津絵 $^{1)}$ 、宇都宮 健輔 $^{1)}$ 、田島 美幸 $^{1)}$ 、今井 杏理 $^{2)}$ 、藤里 紘子 $^{1)}$ 、川崎 直樹 $^{1/3)}$ 、岩元 健一郎 $^{1)}$ 、白川 麻子 $^{1)}$ 、吉原 美沙紀 $^{1)}$ 、川原 可奈 $^{2)}$ 、島田 隆生 $^{2)}$ 、重枝 裕子 $^{1)}$ 、平林 直次 $^{2)}$ 、堀越 勝 $^{1)}$
 - 1) 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター、
 - 2) 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院、
 - 3)学校法人日本女子大学人間社会学部 心理学科
- P-08 絵画配列課題と AQ-J の臨床的有用性の再検討 ~ 入院患者を対象として~
 - ○竹本 千彰、橋本 麻里子、中村 嘉宏、桐山 知彦、酒井 加奈重、原田 典明、 三田 達雄、内海 浩彦、川嶋 祥樹 医療法人內海慈仁会 有馬病院
- P-09 入院患者における主観的・客観的症状評価の発達特性による差異
 - ○橋本 麻里子、竹本 千彰、中村 嘉宏、桐山 知彦、酒井 加奈重、原田 典明、 三田達雄、内海 浩彦、川嶋 祥樹

医療法人内海慈仁会 有馬病院

P-10 当院のリワークプログラムにおける効果と課題の検討

○牛山 茜、中村 仁美、飯島 文子、保坂 朱美、反田 克彦 あさなぎクリニック・心療内科

P-11 リワークプログラムの導入が A 氏にあたえた効果について 一企業が介入し医療機関と連携を深めた事例より —

○小田 良光、谷野 芙美子 医療法人社団和敬会 谷野医院 総曲輪デイケアセンター

P-12 リワークにおけるグループワークプログラムの意義

○能島 沙季、茂木 孝太 社会医療法人財団松原愛育会 松原病院

P-13 リワークプログラム開始時および終了前に施行した CES-D スコアの改善についての検討

- 〇野中 万理子 1 、伊藤 純 1 、伊東 武志 1 、門矢 規久子 2 、影山 航 2
 - 1) 医療法人碧江会 影山メンタルクリニック 千里リワークセンター、
 - 2) 医療法人碧江会 影山メンタルクリニック

P-14 当院のリワークプログラム参加者における早期不適応的スキーマのパターンについて

- ○藤元 君夫 $^{1/2}$ 、宮本 礼子 3 、茂木 孝太 1 、能島 沙季 1 、登坂 由香 $^{1/2}$)
 - 1) 社会医療法人財団松原愛育会 松原病院 すみれ台デイケアりらいふ、
 - 2) 社会医療法人財団松原愛育会 松原病院 診療部、
 - 3) 社会医療法人財団松原愛育会 松原病院 心理療法センター

P-15 発達症に対するリワークプログラムの実践

○林 拓実、早船 ゆかり、岩熊 昭洋、高尾 哲也 医療法人EPSYLON 水戸メンタルクリニック

P-16 再休職防止のために求められることとは

~フォローアップデイケア参加者の声から考える~

○ 遠藤 寛子、古川 情親 社会医療法人あさかホスピタル附属さくまメンタルクリニック

P-17 メンタル休職者の体力実態と運動療法の意義

○神代 嗣雄、早船 ゆかり、岩熊 昭洋、高尾 哲也 医療法人 EPSYLON 水戸メンタルクリニック

P-18 成人発達障害者支援グループの受け入れ方法の違いによる 治療効果の比較検討について

○前田 英樹、澤田 梓穂、平井 咲妃、横山 太範 医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック 北海道リワークプラザ

P-19 休職者が職場で感じた前駆症状の解明

- ○佐藤 大輔1)2)、安保 寛明3)
 - 1) 社会医療法人二本松会 山形さくら町病院、
 - 2)公立大学法人山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科 博士後期課程、
 - 3)公立大学法人山形県立保健医療大学看護学科

P-20 心理療法に特化したリワークプログラムに関する実践報告(5)

~リワークを続けることについての一考察~

○亀井 宗、唐渡 雅行 医療法人清聖会 とわたり内科・心療内科

P-21 自閉スペクトラム症の傾向を有する患者の復職支援に関する事例検討

○高橋 良斉¹⁾、塚本 久美子¹⁾、中澤 千恵¹⁾、左雲 寛之¹⁾、石川 久美¹⁾、内海 浩彦²⁾
1) 医療法人内海慈仁会 内海メンタルクリニック、2) 医療法人内海慈仁会 有馬病院

P-22 気分障害患者に対するリワークプログラムの有効性

- 〇岩井 龍之介 1 、中野 未来 1 、犬飼 清香 2 、寺澤 美穂 3 、二村 緑 4 、北村 由佳 3 、 北澤 加純 4 、田中 佐千恵 5 、杉山 暢宏 4 5)、小林 正義 5 、鷲塚 伸介 4
 - 1) 国立大学法人信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部、
 - 2) 国立大学法人信州大学医学部附属病院 医療福祉相談室、
 - 3) 国立大学法人信州大学医学部附属病院 薬剤部、
 - 4) 国立大学法人信州大学医学部 精神医学教室、
 - 5) 国立大学法人信州大学医学部 保健学科

○佐藤 傍之

医療法人柏水会 三軒茶屋診療所 東京リワークセンター

P-24 当院における就労支援の取組み ~ハローワークとの連携モデル事業から~

○大石 純、早船 ゆかり、岩熊 昭洋、高尾 哲也 医療法人 EPSYLON 水戸メンタルクリニック

P-25 休職に至る要因の質的検討

- 〇高梨 利恵子 $^{1/2}$ 、荒木 章太郎 1 、高橋 保子 1 、仙頭 彩菜 1 、伊野 ゆり子 1 、田中 茉莉 1 、佐々木 $-^{1}$ 、清水 栄司 2
 - 1)医療法人社団爽風会 心の風クリニック船橋、2)国立大学法人千葉大学

P-26 リワークデイケアにおける認知機能リハビリテーション

~ n バック課題・トレーニングを通して~

- 〇綾 千晶 $^{1)}$ 、高梨 利恵子 $^{1)2)}$ 、土門 由紀 $^{1)}$ 、馬場 洋子 $^{1)}$ 、山田 繭子 $^{1)}$ 、佐々木 $-^{1)2)}$ 、山内 直人 $^{1)}$
 - 1) 医療法人社団爽風会 心の風クリニック千葉、2) 医療法人社団爽風会 心の風クリニック船橋

P-27 自分と向き合うリワークデイケア ~発達障害傾向をもつ休職者の事例を通して

○松本 敦、信田 広晶 医療法人社団心癒会 しのだの森ホスピタル

P-28 リワーク参加者の利用期間と復職準備性の比較検討

- ○山本 智美¹⁾²⁾³⁾、大橋 昌資¹⁾、藤原 茂樹²⁾、藤原 マリ子¹⁾、塚原 葉子¹⁾
 - 1)響ストレスケア〜こころとからだの診療所、2)医療法人翠風会 藤原医院、
 - 3)有限会社日本臨床心理研究所

P-29 情報の要約プログラムによる特性の把握と就労支援への活用法

- ○大賀 絵里香1)、足立 桜1)、栗山 千鶴1)、大濱 伸昭1)、横山 太範2)
 - 1) 医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック 北海道ワークサポートプラザ、
 - 2) 医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック

P-30 当センターで実施したストレスチェックの傾向

- 一行政機関と一般企業との比較一
 - 〇天海 久、佐藤 奏恵、井上 綾乃、飯塚 倫子、大越 厚子、吾妻 紗江、平河内 美恵、 植田 寛志

あさかストレスケアセンター

P-31 会員施設を対象とした基礎調査における個人調査の7年間の集計

- 〇池田 隆一 $^{1/3)}$ 、五十嵐 良雄 $^{2/3)}$ 、大木 洋子 $^{2/3)}$ 、林 俊秀 $^{2/3)}$ 、高橋 望 $^{2/3)}$
 - 1)医療法人恵風会 けいふう心療クリニック、2)医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門、
 - 3) 一般社団法人日本うつ病リワーク協会 情報委員会

P-32 成人の ADHD 診断への光トポグラフィー検査の応用

○寺田 浩、滝井 里枝、高橋 真実、寺田 治子 医療法人社団明光会 あおいクリニック

P-33 地方における公務員のリワークプログラム利用者の特徴と課題

○小林 真実、黒田 優希、仲野 愛、辻 尚子、森陰 里美、松原 六郎 公益財団法人松原病院

单位取得表

〈日本医師会生涯教育制度〉 ※事前登録は不要です。

第1回日本うつ病リワーク協会年次大会福島大会におけるシンポジウム、特別講演、特別セッション、ランチョンセミナー等は、日本医師会生涯教育制度の単位申告の対象となります。

〈日本医師会認定産業医研修〉 ※事前登録は不要です。

区 分:生涯

項 目:専門(メンタルヘルス対策)

単位数:2日間で8単位 ※基礎研修の単位は取得できません。

1日に取得できる単位数は5単位までとなります。会場入口で配布致します 産業医学研修会「出席確認票」受講シール引換票に必要事項を記入し同日 の最終退室時に引換票を配布したところにご提出ください。後日、集計後 に単位シールを郵送致します。

〈日本作業療法士協会研修ポイント〉 ※事前登録は不要です。

第1回日本うつ病リワーク協会年次大会福島大会は、一般社団法人日本作業療法士協会「生涯教育基礎コースポイント」を付与することができます。 (2日参加:2ポイント)

※参加証明書については、参加費振込伝票をもってかえさせていただきます ので予めご了承ください。また、大会当日に参加費お支払の場合は、お渡 しする領収書が参加証明書となります。

大会長講演

4月22日日 14:20~15:15

第1会場(1F コンベンションホール)

発達障害の理解と地域包括ケア

座長: 五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長・院長)

発達障害の理解と地域包括ケア

佐久間 啓

社会医療法人あさかホスピタル 理事長・院長

今回の総会のテーマは「発達障害のリワークを科学する ~診断、評価、支援の構築~」としました。1990年前後より、児童精神科領域でアスペルガー障害や注意欠陥多動性障害の診断や治療が中心的に取り上げられ、社会の関心も大きく高まりました。その認識の変化に伴い、幼児の療育も、学校の現場も、急速な変化を迫られて来ました。

精神科医療の現場では、児童思春期の診療対応が追いつかないだけでなく、発達障害の概念が浸透するに連れ、徐々に青年期、そして成人においても、これまで捉えていた症状や疾病概念自体が変化し、時に混乱を招いているとさえ感じます。そして適応障害、うつ病、双極性2型障害、或いは一過性の幻覚妄想状態などの診断の背景にも、発達障害の理解と対応を求められる事例が急増しています。しかしながら、精神科の医師をはじめとする多職種において、発達障害についての概念や共通言語が明確とは言えず、根拠に基づく治療支援に至っているとは言えない現状があります。

今後、リワークデイケアのみならず、他の精神科医療の幅広い臨床現場においても、 発達障害はもはや特別な事例ではなく、現代社会の中での人間の発達を経時的に捉え、 そのバランスや特性への理解を深め、精神科医療のあり方を検討する必要があると考え ます。

あさかホスピタルグループでは、専門領域毎に包括チームとしての連携を強めていますが、近年、児童思春期包括チーム、リワークを含むストレスケア包括チームは勿論のこと、急性期包括チームや地域支援包括チームと、児童思春期から成人に至る迄、様々な場面で発達障害への対応を考慮することが必要となっています。現在の試行錯誤の現況と、その中から見えてくる課題等を含めてご紹介させて頂ければと思います。

一般演題 ポスター発表

4月22日日 11:10~11:50

ポスター会場(コンベンションホール ホワイエ)

P-01 疾病理解のプロセス

~ 「自分の体調管理スケールづくり | を通じて~

○牧野 未佳、高科 雅哉、尾山 悠子 鳴海ひまわりクリニック

【目的】「自分の体調管理スケールづくり」が、体調への関心づけ、不調のサインの認識、疾病理解に効果的であり、再発予防のツールとして有効であることを検証したい。当リワークでは、BDIIIの記録をつけることを推奨しているが、際立った変動がなく、復職時に上司等への非専門職へ開示した際に、症状のサインとして理解されにくい。また、BDIIIの数値変動は、治療者の理解には役立つが、本人の不調サインとしては理解されにくく、体調変化に関心が持てず、治療に意欲的になれない参加者もいた。そこで、疾病理解、再発予防を目的とした「セルフケア」プログラムにおいて、認知療法の「認知、感情、行動、身体」の4要素から、好不調のサインを出し、自分の体調管理スケールを作るプログラムを実施し、「自分の体調管理スケール」を作成した。

【方法】ワークシート(項目決定までの過程)の分析、特徴的な2事例を基に、スケールづくりの過程を述べると共に、BDIⅡの記録と「自分の体調管理スケール」の症状出現の相関を比較検討する。

【結果】症状を段階的、かつ具体的に記入することで自分の健康管理目標が明確化した。 症状をレベル分けすることで、体調変化を段階的に知り、意欲的かつ実感をもって記録 を付けることができた。「自分の体調管理スケール」は得点の振れ幅が大きく、症状変 化及び不調時に特に出やすいサインを見つけやすい。

【考察】症状特性の特徴的な項目を見つけることで、個別性の高い、精度の良いスケール作成ができ、再発予防に役立つと考えられた。また、日常的な言葉、行動特性で表現されるため、非医療者である上司に不調のサインが明確に分かると考えられる。今後の課題として、より有用なスケールづくりに取り組んでもらうために内省化しづらい人、自己感情に目が向きづらい人へのサポート、工夫が必要である。また、定期的な産業医等のフォローにも有用であると考えており、活用を勧めていきたい。

第1回日本うつ病リワーク協会年次大会 福島大会 プログラム・抄録集

発行日: 2018年3月23日

事務局:社会医療法人あさかホスピタル

〒963-0198 福島県郡山市安積町笹川字経坦45 TEL:024-945-1701 FAX:024-945-1735 E-mail:utsu-rework2018@asaka.or.jp

出 版:株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

 $\mathtt{TEL}: 096\text{--}382\text{--}7793 \quad \mathtt{FAX}: 096\text{--}386\text{--}2025$

http://www.secand.jp/